



むすび便り 2022年11月号



～降霜、畑はすっかり冬景色～

10月下旬には強い霜が降り、今まで緑だった畑の里芋や落花生の葉が一晩で枯れて、一気に冬らしい景色へと変わってきました。霜が降りると葉物がぐぐっと美味しくなってきました。葉物や根菜、芋類をたっぷり食べて、来るべき冬に向けて身体もぼかぼかと過ごしたいものですね。10月は稲刈りがあり、その後は親子でのさつまいも掘りを行ったり、はじめてテレビの取材もあり、気持ちの良い季節だけあって、いろいろなイベントが盛りだくさんでした。11月には畑の田植えならぬ、玉ねぎの植え付けがあります。苗を次々とマルチの中に植えていきますが、その数、約16000本。玉ねぎは冬の間もすこしづつ大きくなり、来年の6月に収穫。玉ねぎはむすび野菜セットを陰ながら支えてくれる縁の下の力持ちです♪今年も元気に育ってくれますように～。

農家の11月

10月下旬からは霜も降りはじめ、信州では冬はすぐそこです。来年収穫する小麦の種まきや、えんぴつくらいの太さになった玉ねぎ苗の定植、大豆の収穫、来年の踏み込み温床のための落ち葉さらいなどもあります。🍂 風が冷たくなってきたら、切干大根、干し柿、干し芋など来るべき冬に向けての加工もはじまります。



上:畑の大根、下:走り出し
そうな大根3兄弟。



ずくだせテレビ(SBC信越放送)のザたちさんがさつまいも収穫と焼き芋に来てくれました。焼き芋はもみ殻燻炭で。紅はるかがトロトロの美味しい焼き芋となりました。上の写真はみんなでちよつとちよつと中です♪



今年は田んぼがなかなか乾かずに稲刈りとハザかけ作業が難航しました。何週間かにわけながら、無事に脱穀まで完成！田んぼサポーターの皆様、新米、お待たせしました♪

むすびの森 モズ⑬

今回は野鳥の百舌鳥(モズ)について書きます。里山に住む身近な野鳥で、はやにえという面白い習性があります。はやにえは供え物という意味ですが、縄張りを示したり、冬の食べ物の保存のため、獲物を枝に刺しておくのです。この枝に刺す獲物はカエルやトカゲ、バッタなど様々なのですが、日畑の柿の木に赤とんぼが刺さっていました！柿を子供が採っていて気づいたのですが、こんな身近な畑にもあるなんて驚きました。この習性は1年中見られますが、葉っぱが落ちる秋や冬に気付くことが多いようで、皆さんもぜひ冬の野山で探してみてくださいね^_^ (中島)

